

第4学年国語科 学習指導案

2014年4月30日5校時

4年1組（男子10名 女子10名 計20名） 本時5/9

授業者 T1 渡邊 智穂

T2 勝瀬 明日香

- 1 **単元名** 人物の様子や気持ちを考えながら読もう ～中心人物ビフォア・アフター～
教材名 「走れ」（東京書籍4年上）

2 単元の目標

- 物語に興味を持ち、中心人物が変化した場面を「説明会」において発表することができる。
(関・意・態)
- 紹介したい本を選び、登場人物の性格や気持ちの変化を叙述をもとに想像し、中心人物の変化のわけを考えることができる。C (ウ)
- 言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付き、場面の様子を想像して読むことができる。C伝 (イ (ア))

3 単元について

(1) 単元観

①本単元で取り上げる主な指導事項

小学校学習指導要領・国語の第3学年及び第4学年「C 読むこと」の指導事項「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」を取り上げて指導する。

②単元を貫く言語活動とその特徴

その際、「C 読むこと」の言語活動例「エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。」を具体化した「中心人物の気持ちの変化をとらえよう。お気に入りの本の中で中心人物に大きな変化がある場面を5年生に向けて説明会を開こう。」という言語活動を位置付ける。説明の対象を5年生にしたのは、昨年度同じ単元を学習し、中心人物の気持ちの大きな変化について既習しているの、説明を聞いた後に変化のわけについて昨年度の学習をもとにした感想をもらえると考えたからである。

ここで取り上げる説明会は、物語全体をとらえよう。で、「物語の前と後で中心人物の気持ちを想像し、変化した理由を考えながら、読んだことを自分の言葉で説明する」というものである。

このことにより、本単元でねらう「中心人物に着目して、叙述を基に人物像や対人物とのかかわりを考え、中心人物の気持ちの変化を読む能力」の育成に確実につながる言語活動にする。

本教材は、登場人物の心情を表す言葉が数多く書かれていることが特徴である。そして、中心人物ののぶよの視点から出来事が描かれているので、心情の変化もとらえやすい教材である。

(2) 児童観

児童は、3年10月「サーカスのライオン」で、人物の気持ちの変化に気をつけて読む学習を行い、4年4月「こわれた千の楽器」で、場面の様子や人物の気持ちが伝わるように音読発表に取り組んだ。しかし、授業中の発言の仕方を見ると、話したいことはあるけれど話しているうちに長くなり、伝えたいことが漠然としてくるという姿が見られる時がある。自分の考えを明確にし、そのことを中心にして簡潔に伝えることが必要である。そこで、叙述を基にして登場人物の心情を想像して読んだり、伝え聴き合ったりすることで学び合う力を付けていきたい。

(3) 指導観

第一次では、教師による本の読み聞かせを聞いたり、説明会のモデルを見たりして単元のゴールイメージをもつとともに物語を楽しみ、物語の中での中心人物の変化について、興味を持つ。そして自分が選んだお気に入りの本の中の中心人物に大きな変化がある場面について5年生に向けて説明会を開くという学習のめあてをもつ。

第二次では、登場人物の人柄について考え、はじめと終わりの変化を大まかに捉える。中心人物の変化に着目し、なぜ変わったのか、のぶよの立場から、けんじ、お母ちゃんに対する気持ちや人物の関係を読んでいく。その際、個々の学習や班学習を効果的に用いることで意見交流をより深め、人物の心情にせまっていく。特にクライマックスの部分では、中心人物であるのぶよの

心情が分かる表現を探し、大きく変わったのはどこかをとらえさせたい。そして、中心人物に大きな影響を与えた対人物はだれか、変わったきっかけは何かを考えさせることで、なぜ変化したかを読み、そのことを自分の言葉で表現させたい。そして中心人物の変化について友だちと交流することで、対人物の気持ち等にもせまっていく。また、中心人物が変化したわけを交流し合う中で、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることにも気付かせたい。今回は、昨年度の入子方式にかわり、A・B1セット方式に取り組む。二次の教材文で身に付けたことをすぐに次の時間、自分の選んだお気に入りの本で活用することができるようにするためである。このことによって児童は「読む」ことに必要感をもって取り組むことができると思われる。

第三次では、第二次で選んだお気に入りの本の中心人物の気持ちの変化をふまえ、中心人物が大きく変わった場面を説明会で発表する。5年生に向けて、登場人物の人柄や始めと終わりで中心人物がどのように変わったか、それはなぜなのかを説明する。特に中心人物の変化について自分の読みを生かし、そのことをもとに変化のわけを考え、自分の発表に生かすようにさせたい。

(4) 研究テーマとの関連

主体的に児童が学ぶためには、児童自身が単元を通して活動したり、学んでいくことに意欲を持ち、見通しを持って言語活動を展開していく必要がある。そこで、導入では「中心人物ビフォア・アフター 説明会」のモデルを専科教員により提示し、5年生に向け説明会を開くことへの意欲や課題意識を高める。特に二次と三次のつながりを意識し、三次へ向けて児童がこれまでに付けた力を用いて、自分の選んだ物語の本のクライマックス部分をとらえさせたい。さらに、中心人物の変化について友達と交流することで中心人物の心情にせまり、前時に学習したことを生かして主体的に学ぶ力を積み重ねたい。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	・物語に興味をもち、登場人物の性格や気持ちの変化を考えながら読み、中心人物のはじめとおわりについて説明しようとしている。
読む能力	・説明会を開くために中心人物に着目して、叙述をもとに登場人物の性格や気持ちの変化について想像して読んでいる。(ウ)
言語についての 知識・理解・技能	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(イ(ア))

<言語活動のモデル「中心人物ビフォア・アフター」>

あらすじ

登場人物の人柄

中心人物のはじめの様子 (ビフォア)

中心人物の終わりの様子 (アフター)

中を開いたところ
変化したところ
変化したわけ
を書く。

5 単元構想図

単元を貫く言語活動

お気に入りの物語を選択し、中心人物の気持ちの変化をとらえて、中心人物に大きな変化がある場面を5年生に説明する。

◇学習の流れ

第一次

- 本の読み聞かせと説明会のモデルを見て、お気に入りの本で、主人公に大きな変化がある場面を5年生に発表しようという学習のめあてをもつ。
- 教材文の範読を聞く。
- 並行読書をする。

第二次

- 登場人物、中心人物、対人物を考え、それぞれの人物の人柄や前と後の変化をおさえ、全体を大きくつかむ。
- 中心人物の気持ちはなぜ変わったのか、どこで変わったのか読む。
- 中心人物の気持ちが大きく変わったわけを全体で交流し合う。
- 教材文と並行して自分の選んだ本の中心人物が変化したところをワークシートにまとめる。
- 班やグループで説明会を開く。

第三次

- 5年生に、自分が選んだ本の「中心人物ビフォア・アフター」の発表をする。
- 5年生への「中心人物ビフォア・アフター」を振り返り、学習の振り返りを行う。

◇意識の流れ

【児童の実態】

自分の考えの理由をはっきりさせたり、伝えたりすることが弱い。

- ・中心人物の気持ちの変化をとらえることがめあてなんだ。
- ・中心人物の変化がおもしろいな。私も説明会をやってみたい。
- ・いろいろ読んだけど、この本でやってみよう。

- ・中心人物はのぶよだ。
- ・前の時間に学習したから、この時間は自分でできるよ。
- ・のぶよやけんじ、お母ちゃんはどんな人だろう。
- ・のぶよの気持ちが大きく変わったのは、なぜだろうか。誰がのぶよの気持ちを変えたのだろう。
- ・自分の「中心人物ビフォア・アフター」ができていくよ。
- ・自分と友だちの考えを比べてみよう。

- ・ぼくは、この本で5年生に中心人物がかわったところを説明するよ。
- ・5年生に中心人物の気持ちが大きく変わったところが伝わったかな。

単元で付けたい力

- ・中心人物に着目して、叙述を基に人物像や対人物とのかかわりを考え、中心人物の気持ちの変化を読む力

6 指導計画及び評価計画（全9時間）

	時	学習活動		主な評価規準	
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による「中心人物ビフォア・アフター説明会」を見て、お気に入りの本で中心人物に大きな変化がある場面を5年生に説明しようという学習のめあてをもつ。 ・教材文の範読を聞き、中心人物を確認する。 ・物語を簡単にまとめる。 		【関】 『中心人物ビフォア・アフター』に興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 (発言・行動観察)	
第二次	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「中心人物ビフォア・アフター」に向けて登場人物の人柄について考える。(中心人物、対人物も) ・中心人物のはじめとおわりの気持ちの変化をおさえ、全体を大きくつかむ。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「中心人物ビフォア・アフター」に向けて自分の選んだ本の登場人物の人柄について考える。(中心人物、対人物も) ・中心人物のはじめとおわりの気持ちの変化をおさえ、全体を大きくつかむ。 	【読】 登場人物や中心人物の気持ちの変化を確かめ、内容の大体を読んでいる。 (ワークシート、教材文、発言)
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「中心人物ビフォア・アフター」に向けて中心人物の気持ちはなぜ変わったのか、どこで変わったのかをとらえる。 ・中心人物の気持ちが大きく変わったところを説明し合い、中心人物の思いを共有し合う。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「中心人物ビフォア・アフター」に向けて自分の選んだ本の中心人物の気持ちはなぜ変わったのか、どこで変わったのかをとらえる。 ・中心人物の気持ちが大きく変わったところを友だちと説明し合い、交流する。 	【読】 叙述をもとに中心人物の気持ちの変化とそのわけを想像して読んでいる。 (ワークシート、発言) 【言】 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて読んでいる。 (ワークシート、教材文、発言)
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・走れのビフォア・アフターについて、説明会を開く。 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の選んだ本の「中心人物ビフォア・アフター」の説明会を班の中で行い、5年生への発表に向けて準備をする。 	【言】 感想を表す言葉には様々なものがあることを知り、物語を読んで中心人物の変化のわけを交流している。 (行動観察、ワークシート)
第三次	8	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生に向けて、自分の選んだ本のビフォア・アフターの説明会を開く。 		【関】 物語で、中心人物の気持ちが大きく変わったところを説明しようとしている。 (説明、行動観察)	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生への説明がどうだったのか、国語日記を書いて振り返る。 		【関】 自分の説明を振り返り、読書への意欲を高めている。 (国語日記、行動観察)	

7 学習の展開

第一次 1時間目 (1/9)

(1) 目標 主人公の性格や気持ちが書かれている作品に興味をもち、これからの学習の見通しをもつことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 学習の見通しを持つ。</p> <p>(1) 「中心人物ビフォア・アフター説明会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師のモデルを見る ・感想を言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> これからの学習のめあてを知ろう。 </div> <p>(2) 学習の流れを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてを知る。 <p>(3) 昨年度学習してきた物語文でモデルの物語と似たような作品はなかったか、振り返る。</p>	<p>○主人公の性格や気持ちの変容が書かれている場面について説明し、「お気に入りの本の中で主人公の気持ちが大きく変わった場面を説明会で紹介する」という学習の見通しをもたせる。</p> <p>○教師のモデルを見せ、意欲をもたせる。</p> <p>※【ライラはごきげんななめ】 (アレクサンダーstadler、セーラー出版、2005年)</p> <p>○教師作成の「学習の流れ」を見せる。</p> <p>○前学年で学習した物語文の話題から入り、今までの学習したことを役立てて学習していくことを知らせる。興味・関心がもてるようにする。</p>
<p>2 教材文「走れ」の範読を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートに中心人物や対人物について整理し、中心人物の変容について考える。 <p>3 「走れ」を簡単にまとめる。</p>	<p>○登場人物(中心人物や対人物)を見つけながら聞くように指示したうえで、教材文を範読する。</p> <p>○既習事項を確認したうえで、自分の立場(考え)をはっきりと書かせる。</p> <p>○一文で簡単にまとめるように指示する。</p> <p>☆めあてを知り、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>【関】(発言・行動観察・ノート)</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 家庭学習 登場人物はどんな人か考えながら「走れ」を通して音読してくる。 </div>	<p>○次時は、登場人物の人柄や、物語を大きく学習していくことを知らせる。</p>

7 本時の学習

第二次 1時間目 (2/9)

(1) 目標 登場人物や、中心人物の人柄や、気持ちの変化を確かめて内容の大体を読み取ることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 言語活動を確認した後、全文を通読する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「中心人物ビフォア・アフター」に向けて、のぶよや、のぶよの家族はどんな人たちか考えよう。</p> </div>	<p>○途中でとまることがないように、中心人物の様子が分かるように音読させる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 登場人物 (のぶよ、けんじ、お母ちゃん) の人柄について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人 ・ペア ・全体 <p>(2) 自分の本の紹介で、登場人物の気持ちの変化を説明できるように、物語の始めと終わりののぶよの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のぶよの気持ちの変化をワークシートに簡単にまとめる。 ・個人 <p>(3) 自分の本の中心人物の説明をよりよくすることにに向けて、全体交流をして、考えを深める。</p> <p>4 今日の学習を振り返る。</p>	<p>○書かれていることを頼りに人柄について考えさせ、ワークシートに整理させる。</p> <p>○交流の際は、どうしてそう考えたのか、根拠が言えるようにしておく。</p> <p>○はじめののぶよの運動会に対する思いと最後ののぶよの気持ちを考え、のぶよの気持ちが変わっていることをおさえる。</p> <p>☆登場人物の人柄や気持ちの変化を確かめて読んでいる。</p> <p>【読】(ワークシート、発言)</p> <p>※困っている児童には、途中でペア対話をしたり、はじめとさいごの文章に立ち返って読ませることで、考えをまとめる手助けとする。</p> <p>○今日学習したことをもとに、感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>家庭学習</p> <p>のぶよの気持ちが変わったのはなぜか考えながら音読して行く。</p> </div>	<p>○次時に自分の選んだ本の登場人物についてまとめることを予告する。</p>

7 本時の学習

第二次 2時間目 (3/9)

(1) 目標 登場人物や、中心人物の人柄や、気持ちの変化を確かめて内容の大体を読み取ることができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 言語活動を確認した後、全文を通読する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「中心人物ビフォア・アフター」に向けて、お気に入りの本の登場人物の人柄や変化を考えよう。</p> </div>	<p>○途中でとまることがないように、中心人物の様子が分かるように音読させる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 自分が選んでいる本の登場人物の人柄について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人 ・ペア ・全体 <p>(2) 自分の本の紹介で中心人物の気持ちの変化を説明できるように、物語の始めと終わりの中心人物の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心人物の気持ちの変化をワークシートに簡単にまとめる。 ・個人 <p>(3) 自分の本の中心人物の説明をよりよくすることに向けて、全体交流をして、考えを深める。</p> <p>4 今日の学習を振り返る。</p>	<p>○書かれていることを頼りに人柄について考えさせ、ワークシートに整理させる。</p> <p>○交流の際は、どうしてそう考えたのか、根拠が言えるようにしておく。</p> <p>○はじめの中心人物の様子や気持ちとおわりの中心人物の様子や気持ちを考え、中心人物が変化していることをおさえる。</p> <p>☆登場人物の人柄や気持ちの変化を確かめて読んでいる。</p> <p>【読】(ワークシート、発言)</p> <p>※困っている児童には、途中でペア対話をしたり、はじめとさいごの文章に立ち返って読ませることで、考えをまとめる手助けとする。</p> <p>○今日学習したことをもとに、感想を交流する。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>家庭学習</p> <p>のぶよの気持ちが変わったのはなぜか考えながら教材文を音読してくる。</p> </div>	<p>○次時に教材文でのぶよの気持ちが変わったのはどうしてか考えることを予告する。</p>

7 本時の学習

第二次 3時間目 (4/9)

(1) 目標 中心人物の変容について理由を考え、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付きながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 言語活動を確認し、前時をふりかえる。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p>	<p>○言語活動を確認することで目的意識や意欲を持たせる。</p> <p>○はじめとおわりの中心人物の気持ちを確認する。</p>
<p>「中心人物ビフォア・アフター」に向けて、のぶよの気持ちが大きく変わったのはどうしてか考えよう。</p>	
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 中心人物ビフォア・アフターで説明ができるように、のぶよの気持ちがどのあたりで変わったのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人→全体 <p>(2) のぶよの気持ちがなぜ変わったかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人 ・ペア <p>4 本時の学習を振り返り、書かれていないことでも文章を手がかりにして登場人物の気持ちを想像できることを全体で確認する。</p>	<p>○ワークシートにどのあたりで変わったのか書かせる。</p> <p>○気持ちが変わったきっかけは何かを考えながらワークシートに自分の考えをまとめさせる。</p> <p>☆物語全体を通して、登場人物の人柄をや気持ちの変化を読んでいる。</p> <p style="text-align: center;">【読】(ワークシート、発言)</p> <p>※ペア対話を効果的に使ったり、対人物は誰かということや、変化の理由を考えさせ、ワークシートにまとめる手がかりとする。</p> <p>○今日学習したことをもとに、中心人物に大きな変化がある場面について感想を交流させる。</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p>	<p>○次時にお気に入りの本の中心人物の様子や気持ちが変わったわけについて考えること予告する。</p>
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>家庭学習</p> <p>自分のお気に入りの本の中心人物がなぜ変わったのか、理由を考えてくる。</p> </div>	

7 本時の学習

第二次 4時間目 (5/9)

(1) 目標 中心人物の変容について理由を考え、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付きながら読むことができる。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
1 言語活動を確認し、前時をふりかえる。 2 本時の課題をつかむ。	○言語活動を確認することで目的意識や意欲を持たせる。 ○はじめとおわりの中心人物の気持ちを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「中心人物ビフォア・アフター」に向けて、お気に入りの本の中心人物の様子や気持ちが大きく変わったのはどうしてか考えよう。</p> </div>	
3 課題を解決する。 (1) 中心人物の気持ちがどのあたりで変わったのか考える。 ・個人 (2) 中心人物の気持ちがなぜ変わったかを考える。 ・個人 ・ペアまたはグループ (3) 中心人物ビフォア・アフターで理由について説明するために、全体で交流する。 4 本時の学習を振り返り、めあてについての自分の感想や交流の感想を言う。	○ワークシートにどのあたりで変わったのか書かせる。 ○人物どうしのかかわりや気持ちなど、書かれていないことでも文章を読んで想像することができることを確認する。 ○家庭学習をもとに、気持ちが変わった理由は何かを考えながらワークシートに自分の考えをまとめさせる。 ※ペア対話を効果的に使ったり、対人物は誰かということや、変化の理由を考えさせ、ワークシートにまとめる手がかりとする。 ☆物語全体を通して、中心人物の様子や気持ちの変化を読んでいる。 【読】(ワークシート、発言) ○今日学習したことをもとに、中心人物に大きな変化がある場面について感想を交流させる。
5 次時の学習について知る。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>家庭学習 「走れ」のワークシートをもとに説明会に向けて練習をしてくる。</p> </div>	○次時に「走れ」のビフォア・アフターについて説明会を開くことを予告する。

7 本時の学習

第二次 5時間目 (6/9)

- (1) 目標 感想を表す言葉には様々なものがあることを知り、物語を読んで中心人物の変化のわけを交流している。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 言語活動を確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>クラスの友だちと「走れ」の中心人物ビフォア・アフター会を開こう。</p> </div>	<p>○言語活動を確認することで目的意識や意欲を持たせる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) のぶよのはじめとおわりについての変化の理由を説明するために自分で説明の仕方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人 <p>(2) 班ごとに説明会を開き、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班 <p>(3) 他の班の説明を聞き合って全体で説明会をする。</p> <p>(4) 全体交流をして、本時の活動をふりかえる。</p>	<p>○ワークシートにそって、どんなことを話すのか個人練習の時間をとる。</p> <p>○のぶよの変化の理由について、班の友だちと交流したことをワークシートに書き足していくことを助言する。</p> <p>☆感想を表す言葉には様々なものがあることを知り、中心人物の変化のわけについて交流している。</p> <p style="text-align: center;">【言】(ワークシート、発言)</p> <p>※机間指導で始めののぶよと終わりののぶよの様子や気持ちをはっきりさせ、変わった理由について自分の言葉で表現できるよう、個別に支援する。</p> <p>○変化の理由を中心に説明し合うようにする。その際交流の欄になるほどと思った理由についてメモをとらせるようにする。</p> <p>○自分の意見と友だちとの交流を通して気付いたことや思ったことを話させる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習</p> <p>今日の学習をもとに自分が選んでいるお気に入りの本の中心人物ビフォア・アフターについてワークシートをもとに練習してくる。</p> </div>	<p>○次時に中心人物の気持ちが変わった場面を発表し合うことを予告する。</p>

7 本時の学習

第二次 6時間目 (7/9)

(1) 目標 感想を表す言葉には様々なものがあることを知り、物語を読んで中心人物の変化のわけを交流している。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 言語活動を確認する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>クラスの友だちとお気に入りの本の中心人物ビフォア・アフター会を開こう。</p> </div>	<p>○言語活動を確認することで目的意識や意欲を持たせる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 自分が選んでいる本の中心人物のはじめとおわりについての変化の理由を説明するために、説明の仕方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人 <p>(2) グループごとに説明会を開き、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ(同じ本を選んでいる友だち) <p>(3) 交流をもとに個人で整理しながら練習をする。</p> <p>(4) 全体交流をして、本時の活動をふりかえる。</p>	<p>○ワークシートにそって、どんなことを話すのか個人練習の時間をとる。</p> <p>○中心人物の変化の理由について、同じ本を選んでいる友だちと交流したことをワークシートに書き足していくことを助言する。</p> <p>☆感想を表す言葉には様々なものがあることを知り、中心人物の変化のわけについて交流している。</p> <p style="text-align: right;">【言】(ワークシート、発言)</p> <p>※机間指導で始めの中心人物と終わりの中心人物の様子や気持ちをはっきりさせ、変わった理由について自分の言葉で表現できるよう、個別に支援する。</p> <p>○自分の意見と友だちとの交流を通して気付いたことや思ったことを話させる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>家庭学習</p> <p>今日の学習をもとに自分が選んでいるお気に入りの本の中心人物ビフォア・アフターについてワークシートをもとに練習してくる。</p> </div>	<p>○次時に 5 年生に向けて説明会を開くことを予告する。</p>

7 本時の学習

第三次 1時間目 (8/9)

(1) 目標 物語で自分が読んだことをもとに、中心人物の気持ちが大きく変わったところを説明しようとしている。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 前時を振り返り、家庭から練習してきたことを練習する。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>変化の理由をはっきりさせて、中心人物ビフォア・アフター説明会を開こう。</p> </div>	<p>○言語活動を確認することで目的意識や意欲を持たせる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 班で説明し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班全員が終了したら、5年生に次の班へ移動してもらう。 <p>(2) 今日の活動を振り返って感想を言う。</p>	<p>○自分の説明する本の題名、登場人物、主なあらすじ、中心人物の始めと終わり、そして変化の理由について、順序よく説明することができるようにする。</p> <p>○一人終わるごとに感想をかいてもらい、次時の振り返りの材料にする。</p> <p>○代表者の音読を聴いた後、中心人物のどんな思いが伝わってきたのか、全体で交流し合う。</p> <p>☆物語で自分が読んだことをもとに、中心人物の気持ちが大きく変わったところを理由をはっきりさせて説明しようとしている。 【関】(説明、発言)</p> <p>○自分の説明はどうだったのか、簡単にめあての振り返りをさせる。</p>
<p>4 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 3px double black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>家庭学習</p> <p>本時の学習を思い出しながら、中心人物ビフォア・アフターを保護者にきいてもらい、感想をもらってくる。</p> </div>	<p>○次時に中心人物ビフォア・アフターの振り返りをするを予告する。</p>

7 本時の学習

第三次 2時間目 (9/9)

(1) 目標 「中心人物ビフォア・アフター」での自分の説明を振り返り、読書への意欲を高めている。

(2) 展開

主な学習活動と内容	指導上の留意点 (○) 評価 (☆) 支援 (※)
<p>1 家庭の反応はどうだったのか、感想を出し合う。</p> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 中心人物ビフォア・アフターはどうだったか、ふりかえろう。 </div>	<p>○言語活動を確認することで目的意識や意欲を持たせる。</p>
<p>3 課題を解決する。</p> <p>(1) 5年生の感想を聞く。</p> <p>(2) 国語日記を書く。</p> <p>①説明会での自分の説明について、気を付けたことを書く。</p> <p>②5年生の感想を読んで、どう思ったのかを書く。</p> <p>(3) 全体で交流する。</p> <p>(4) めあての評価をする。</p>	<p>○いくつかの感想カードを紹介し、振り返りへの意欲付けをする。</p> <p>○ノートに自分の説明がどうだったのかを書く。→国語日記</p> <p>※5年生のカードを読ませたり、5年生の反応を思い出させたりして、書くことのきっかけができるようにする。</p> <p>○全体で交流することにより、達成感をもたせ、みんなの学びを共有する。</p> <p>☆「中心人物ビフォア・アフター」での自分の説明を振り返り、読書への意欲を高めている。 【関】(国語日記・発言・行動観察)</p>
<p>4 次時からの学習について知る。</p>	<p>○次の物語文でもこの学習を通して身に付けたことを生かして学習を進めていくように話す。</p>